『アハヽヽ糞暑いのに嬲りなはんな。今時分蜜柑なんて何處におますかいナ。』
『トホヽヽヽヽ。……何やら磔刑柱がチラ〳〵見える樣な氣がする。……御免……。』
『へおいでやす。』
『おまへんやろかなア。』
『何がだんね。』
『蜜柑。……光澤の良え……ふつくりした。……』
『何云ふてなはんね。私ん處鳥屋だつせ。』
『蜜柑生む樣な鳥おまへんか。』
『確かりしなはれや暑さにあてられてるのんかいナ。』
『お宅の御親類に、磔刑に成た人おまへんか。』
『ショムない事云ひなはんナ。そんな者あるかいナ。』
『そんなら貴方、磔刑ちウもん見た事おますか。』
『そらおます若い時に一遍見た事おますネ。』
『どう云ふ具合ひだす。』
『恐ろしい物だつせ、あれを見ると惡い事する氣にはなれまへんなア。』

『あゝ左樣か。』
『十文字になつた磔刑柱が横にねさしたアるこれへ罪人を縛りつけて建てまんね。尤も目かくしがしておますワ。お役人が出て來て罪の次第を讀で聽かします。矢來の外では見物がシーンとして見てます。』
『へエ〳〵。』
『非人が二人竹鎗を構えて兩脇に立てます。』
『フルヽヽヽヽ。なハるほど……。』
『役人がサツと會圖をすると、脇腹の三枚目めがけてブスツ。』
『うわーア。』
『アヽ吃驚した。大きな聲出して引繰り返りなはつたナ。』
『腰が抜けましたんや。』
『氣の弱いお方やなア、是れは昔の話だつせ。』
『それが中々昔の話處やおまへんね。蜜柑が無かつたら、私いがそんな目に遭いますのや。』
『一態どふしたと云ふ譯だんね。』
『内の若旦那が蜜柑が喰べられなんだら死ぬと云やはりますのや。私いがウツカリ季節を忘れて引請